

「武蔵野市障害者福祉についての実態調査」の実施について

1 調査目的

障害者が日常生活を送る上で必要となるサービスを把握・分析し、令和5（2023）年度に策定する「武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画」の基礎資料を得るために実施する。

2 調査設計

（1）調査対象者 3,000名

身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の各手帳所持者と自立支援医療（精神通院）受給者及び医療費助成（難病、肝炎、小児慢性）受給者の中から無作為抽出
※障害が重複する場合は主なもの

（2）調査期間

令和4年11月下旬～12月中旬

（3）調査方法

配布：郵送による

回収：郵送もしくはWEB回答を想定

3 前回（令和元年11月実施）の調査結果

区 分	発送数	有効回収数	回収率
身体障害	1,288	748	58.1%
知的障害	410	260	63.4%
精神障害	792	373	47.1%
難病・特定疾患	510	310	60.8%
合計	3,000	1,691	56.4%

4 今回の基本方針

（1）調査票は全対象者共通のものを使用する。

⇒障害・疾病別に調査票を変えることはしない。

（2）回答方法の拡充（WEB回答）による回収率の向上を見込む。

（3）調査票は全対象者共通のものを使用する。

⇒障害・疾病別に調査票を変えることはしない。

（4）計画策定の基礎資料となるため、各分野は可能な限り網羅する。

（5）頁数、設問数は前回調査（R元年）と同数程度（58項目）とする。

（6）経年変化を見るため大規模な変更は行わない。

⇒世情の変化による質問内容の加除修正は行うが、経年変化の把握や回答者の負担等を鑑

み、調査項目の基本的事項や設問数に大きな変更を加えない。

(7) 制度周知の側面も持った調査票とする。

⇒多くの市民の手にひろく渡るものとして、この機会に制度等の広報ツールとしても活用する。

5 調査票の設問について

追加する設問（案）

(1) 追加する設問

① 自認している性について

・平成28年度→令和元年度の際に設問削除。自認している性と他の設問項目をクロスさせた集計も行うことができると思われるため。

② 新型コロナウイルスに関する質問

調査項目（案）としては、以下の内容を想定。

①情報の入手方法②感染症の拡大により困ったこと③日常のサービス利用への影響

④安心して地域生活を営むために必要な支援は何か。

6 今後のスケジュールについて

- ・(8月29日…実態調査および計画策定支援業者のプロポーザルを実施)
- ・9月上旬～…業者決定。事業者との打ち合わせを随時開催
- ・10月下旬…調査項目・送付者の確定
- ・11月7日(月)…地域自立支援協議会(第3回親会)
- ・11月中～下旬…調査票の発送(回答期間:2～3週間)
- ・12月中旬…回収・集計分析
- ・1月…地域自立支援協議会で速報版を提示
- ・2月…厚生委員会にて行政報告
- ・3月…武蔵野市障害者福祉についての実態調査報告書完成

7 各部会へのお願い

設問・内容を含む調査票全般についての意見を部会ごとに取りまとめていただき、事務局までお知らせください。期日:9月16日(金)